

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Harmony & Theory II		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則別表上表記	Harmony & Theory II	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood卒業後、同校で教鞭を執る傍ら、西海岸エリアを中心にスタジオミュージシャンとしてのキャリアをスタート。現在は東京を拠点にアーティストへの楽曲提供、ライブやレコーディング、教則本の執筆をこなしている。前記経験を活かし、コンテンポラリーミュージックで必要とされる音楽理論を教える。				
授業概要					
メジャーキー/マイナーキー両方のダイアトニックメロディーとリズムの広い知識とダイアトニックコードの構造、現代のポピュラーミュージックにおいて必要なコードやスケール等の音楽理論の広い知識を学ぶ。					
到達目標					
音楽を理論的側面から捉え、演奏や作編曲等に活用する。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	Pentatonic scales The Blues Chords Inversions
【前期】 5～10回目	Extended Chords(9th chords) Extended Chords(11th&13th chords) Reviewと中間小テスト
【前期】 11～14回目	Other chord types Modes
【前期】 15～18回目	Harmony & Theory 3 Review Altered Chords
【後期】 1～6回目	Variations in minor harmony Variations in minor melody
【後期】 7～10回目	Modal interchange
【後期】 11～14回目	Reviewと中間小テスト Secondary dominants
【後期】 15～17回目	Diatonic chord substitution Modulation
【後期】 18回目	Harmony & Theory 4 Review
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	MI Bookstore Harmony & Theory 3, 4

授業科目名	Ear Training II		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則別表上表記	Ear Training II	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood卒業後、同校で教鞭を執る傍ら、西海岸エリアを中心にスタジオミュージシャンとしてのキャリアをスタート。現在は東京を拠点にアーティストへの楽曲提供、ライブやレコーディング、教則本の執筆をこなしている。前記経験を活かし、ミュージシャンとして必要とされる聴音能力を高め相対音感を身につける授業を行う。				
授業概要					
ダイアトニックで構成される音楽を相対音感を使って、聴き取り分析する。					
到達目標					
ダイアトニックのメジャーキー/マイナーキー両方におけるメロディー、コード、16分音符を含むリズムと3連符やシャッフルを含むリズムを認識する聴音力の修得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	16th note rhythms 16th note melody				
【前期】 6～10回目	Minor scale variations Reviewと中間小テスト				
【前期】 11～15回目	Minor scale harmonic variations Diatonic 7th chords				
【前期】 16～18回目	Diatonic 7th chord progressions Review				
【後期】 1～5回目	Pentatonic scale melody Blues scales, melody, and rhythm				
【後期】 6～9回目	Minor scale variations Natural minor melodies & Inverted triads				
【後期】 10～13回目	Minor melodies with rhythm & Blues Melodies Reviewと中間小テスト				
【後期】 14～16回目	Diatonic minor key triad progressions Minor key 7th chord progressions				
【後期】 17～18回目	Chords & Rhythm Review				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	MI Bookstore Ear Training 3. 4				

授業科目名	Reading (Bass) II		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則別表上表記	Reading II	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	MI Hollywood卒。Sing Like Talking、絢香、PUFFY、森山直太郎、近藤真彦、Kinki Kids、嵐、岡本真夜などライブ・レコーディングでサポート。バンド「Lab-Siva」でも活動中。前記実践で得た経験を基に読譜のノウハウや演奏力向上の授業を行う。				
授業概要					
より高度で実践的な読譜力を身につける為のトレーニングを多数のエクササイズを通じて行う。					
到達目標					
簡単な譜面の初見演奏が出来る様になること。全てのkeyのリーディングがより広い音域で行える様になること。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	Exploring the Fingerboard 7thポジション: key of C Major, 9thポジション: key of G Major, 8thポジション: key of Db, Gb, 4thポジション minor Keys: Key of G# minor, C# minor, 9thポジション: key of D Major, 7thポジション: key of F Major, それぞれのPentatonic Scales, 2ndポジション: key of F# minor, F# Blues Scales(minor pentatonic with Flat Five) Sight-reading Sight-reading-1, 2				
【前期】 6～10回目	Exploring the Fingerboard 8thポジション: key of C# Major, 5thポジション: key of Bb Major, A minor, A minor pentatonic, A Blues Scales(Minor pentatonic with Flat Fifth), 8thポジション: key of F# Major, 10thポジション: key of Eb Major, 5thポジション: key of D minor, D minor pentatonic, D Blues Scales(minor pentatonic with Flat Fifth), 6thポジション: key of B Major, Cb Major				
【前期】 11～15回目	Exploring the Fingerboard 3rdポジション: key of G minor, G minor pentatonic, G Blues Scales(minor pentatonic with Flat Fifth), 2nd～9thポジション: key of G Major, 10thポジション: key of Ab Major, 7thポジション: key of E minor, 11thポジション: key of A Major, オープンポジションから7thポジション: Key of F Major, 8thポジション: key of C minor Sight-reading Sight-Reading-3, Leaps, Rhythms				
【前期】 16～18回目	Exploring the Fingerboard オープンポジションから6thポジション: Key of E Major, オープンポジションから5thポジション: Key of Bb Major, 6thポジション: Key of Bb minor, 4thポジションから9thポジション: key of D Major, 5thポジションから10thポジション: key of Eb Major, 6thポジション: Key of Eb minor, All Sharp keys: All Positions, All Flat keys: All Positions, All minor keys: All Positions,				
【後期】 1～5回目	Improving knowledge C Lydian Etude, G Dorian Etude Reading Time Signatures of five, Key changes, Treble Clef Transposing, Transcribing, Chart-reading Real-world Reading				
【後期】 6～10回目	Improving knowledge F Mixolydian Etude, B Phrygian Etude, C Aeolian(Natural minor) Etude Reading Time Signatures of Six and Seven, Key changes, Treble Clef Transposing Transcribing				
【後期】 11～15回目	Improving knowledge Chnge Keys: Etude Modulating from F Major to Ab Major, G minor to E minor Reading Time Signatures of Five, Six, and Seven, Figured Bass Symbols, Treble Clef Introducing Counterpoint Transposing				
【後期】 16～18回目	Improving knowledge Chnge Keys: Etude Modulating from B Major to D Major, Db Major to A Major Reading Time Signatures of Five, Six, and Seven, Figured Bass Symbols, Treble Clef Introducing Alto and Tenor Clefs Transposing				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	MI Booksotre Bass Reading 3. 4				

授業科目名	Technique (Bass) II		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Technique II	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	ロックを中心としながらさまざまなジャンルをこなすマルチベーシスト。アニソンやアイドル、声優やポップ、ロックなど幅広いアーティストのライブ、レコーディングに参加している。前記記載の経験を活かし、演奏の技術はもちろん様々なジャンルの演奏スタイルを学べる授業を行う。				
授業概要					
コンテンポラリーなベースプレイヤーとして必要なテクニックをさまざまな例題から学ぶ。フィンガースタイルやスラップスタイルなど基礎となるスタイルや数々のグルーブをマスター。					
到達目標					
フレットボード上のすべての音を把握する					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	8th-Note Grooves、Pentatonic Scales、Melodic Development、 8th-Note Swing and Shuffle Feels、Blues Harmony & Form、Melodic Development				
【前期】 6～10回目	Drop Tunings、Drop D Tuning Fretboard、Blues Scale、Harmonic Minor Scale、16th-Note Grooves、 3rd Inversion 7th Chords、Extended Chords1、16th-Note Swing、Fretboard				
【前期】 11～15回目	Slap Bass Triplets、Extended Chords2、Melodic Minor Scale、 Slap Bass: Double Click and Flam、Other Chord Types				
【前期】 16～18回目	Walking Bass、Chordal Movement & Chromatic Harmony、Modes of Major Scale Chord Voicings 1、Review				
【後期】 1～5回目	Chord Voicings 2、Ranking and Strumming、Harmonic Minor Modes and Chords Advanced Vibrato、Tremolos、and Trills、Melodic Minor Modes and Chords、Advanced Harmonics				
【後期】 6～10回目	Minor Harmony、Tapping、Symmetrical Scales、Soloing Concepts Key Center Playing、Modal Interchanges				
【後期】 11～15回目	Double Thumbing、Scale Substitutions、Chord Substitutions and Implied Chords Superimposition、Surrunding Arpeggios、Guide Tones				
【後期】 16～18回目	Guide Tones and Extensions、Motif Displacement and Call And Response、Major and Minor Scale Variations、One-Note Rhythmic Soloing and Odd Phrase Sequencing、Conclusion and Application、 Review				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	MI Bookstore Bass Technique 3, 4				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Performance II (bass)		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Performance II	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	72回(144単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	ギター/ベース/ドラム コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood卒業後、アメリカ西海岸を中心にさまざまなアーティストをサポート。帰国後もバンド、アーティストサポートなど精力的に活動している。前記記載の経験を活かし、ベーシストとして演奏の技術はもちろんアンサンブル能力の更なる向上を目指す授業を行う。				

授業概要

Prep.Performanceの授業で、提示した楽曲を、バンド形態でパフォーマンスする。難易度は勿論の事、表現力や統率力を問われる実践的授業。

到達目標

与えられた素材に対しての、各自のアプローチや表現力のアップ。セッション等に於いても、幅の広い対応のできるプレイヤーへの成長を目指す。

授業計画・内容

【前期】 1～10回目	前期課題曲：1～5
【前期】 11～20回目	前期課題曲：6～10
【前期】 21～30回目	前期課題曲：11～15
【前期】 31～36回目	前期課題曲：16～19
【後期】 1～10回目	後期課題曲：1～5
【後期】 11～20回目	後期課題曲：6～10
【後期】 21～30回目	後期課題曲：11～15
【後期】 31～36回目	後期課題曲：16～19
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Songwriting(Guitar、Bass)		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Songwriting	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	ギターコース、ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	MI Hollywood卒業後、日本で活動を開始。エレクトリック、アコースティック問わず「歌モノとしてのギターアプローチ」を追求しており、そのギターワークは、国内アーティストのみならず海外のアーティストからも高い信頼を得ている。前記経験を活かし、曲作りからアレンジまでを学ぶ授業を行う。				
授業概要					
現代音楽において役立つ、テーマ別の作曲、アレンジをしていく。作業効率のアップをめざし、より早く、かつ、より多くのレベルの高い楽曲の作成やアレンジを学んでいく。また、提出期限までのプランニングを行う習慣を身に付けられるようにする。					
到達目標					
要望に沿った楽曲が作成できる商業音楽作家として通用する楽曲制作と、アレンジメントを学ぶ。コードプログレッションの理解をより深め、メロディメイクと、ハーモニーを両立させられる力を身に付けていく。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	授業説明。課題曲および自由曲の作曲。楽曲のアレンジ、エディット。より高度なメロディメイクの方法を探り、高度なアレンジを行う。
【前期】 6～10回目	楽曲のアレンジ、エディット。より高度なメロディメイクの方法を探り、高度なアレンジを行う。中間発表(クラス内試聴会)。
【前期】 11～15回目	課題曲および自由曲の作曲。楽曲のアレンジ、エディット。より高度なメロディメイクの方法を探り、高度なアレンジを行う。
【前期】 16～18回目	プレゼンテーション。作品発表(クラス内試聴会)。他者の曲楽曲への評点を行う。
【後期】 1～6回目	課題曲および自由曲の作曲。楽曲のアレンジ、エディット。より高度なメロディメイクの方法を探り、高度なアレンジを行う。
【後期】 7～10回目	楽曲のアレンジ、エディット。より高度なメロディメイクの方法を探り、高度なアレンジを行う。中間発表(クラス内試聴会)。
【後期】 11～15回目	課題曲および自由曲の作曲。楽曲のアレンジ、エディット。より高度なメロディメイクの方法を探り、高度なアレンジを行う。
【後期】 16～18回目	プレゼンテーション。作品発表(クラス内試聴会)。他者の曲楽曲への評点を行う。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Live Playing Workshop II		授業形態 / 必・選	演習	必修
	学則別表上表記	Live Playing Workshop II	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	各曜日ごと各ジャンルごとのアンサンブル授業に当校の音楽ジャンルや音楽スタイルに精通したキャリアを持つ講師を授業ごとに5～6名を配置し授業を行う。				
授業概要					
課題曲を用いて本番を想定した、ステージ上で行われるバンドアンサンブルの授業。音楽のスタイルやジャンル別に、毎日行われている。各パートの講師がアンサンブルや演奏に関してのレクチャーを行う。					
到達目標					
バンドアンサンブルの技術やステージでの経験値を上げる。様々なジャンルやスタイルの音楽を身につける。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Contemporary Pop/Rockなど毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週1回選んで出席する。				
【前期】 6～10回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Contemporary Pop/Rockなど毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週1回選んで出席する。				
【前期】 11～15回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Contemporary Pop/Rockなど毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週1回選んで出席する。				
【前期】 16～18回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Contemporary Pop/Rockなど毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週1回選んで出席する。				
【後期】 1～5回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Contemporary Pop/Rockなど毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週1回選んで出席する。				
【後期】 6～10回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Contemporary Pop/Rockなど毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週1回選んで出席する。				
【後期】 11～15回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Contemporary Pop/Rockなど毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週1回選んで出席する。				
【後期】 16～18回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Contemporary Pop/Rockなど毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週1回選んで出席する。				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	講師が用意する譜面・歌詞				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Bass Style Selection II		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Bass Style Selection II	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	180回(360単位時間)	年間単位数	12単位
科目設置学科コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	授業の内容に応じた現役プロの講師				
授業概要					
自身の望むスタイルに必要な授業を選択し、受講する。					
到達目標					
自身のスタイルの確立。 確立したスタイルに対するスキルの習得、向上。					

授業計画・内容		
【前期】 1～90回目	選択授業①	別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。
	選択授業②	別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。
	選択授業③	別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。
	選択授業④	別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。
	選択授業⑤	別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。
【後期】 1～90回目	選択授業⑥	別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。
	選択授業⑦	別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。
	選択授業⑧	別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。
	選択授業⑨	別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。
	選択授業⑩	別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)	
使用教科書	選択した授業ごとに資料を配布。	